

第12回 香川県教育研究集会

憲法が生きる教育

すべての子どもたちが笑顔で学べる平和な未来を！



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
[組合員の購読料は組合費に含む]

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

教育行政キャラバンが始まります。11/19(月)～11/22(木)まで。各市町で教育に関する要請をしていきます。



オープニングイベントでよさこいを披露したでけ隊のみなさん

10月28日、香川大学教育学部キャンパス内で「第12回香川県教育研究集会」が行われました。午前中には5つの分科会で活発な議論がされた後、午後からは「香川の教育をよくする県民会議総会」があり、その後徳島大学教授山口裕之さんによる「民主主義と道徳教育」についての記念講演がありました。



午後をよくする会総会であいさつをする太田会長

開会あいさつでは、高教組安部委員長によるあいさつがありました。午後の「よくする会総会」の冒頭で太田会長より、「国民の生活は、この5年間で現金給与総額が4・1%下がり、年収200万円以下のワーキングプアが40万人も増加しているのに、資本金10億円以上の大企業の内留保は425兆円である。」とのべ、国民の貧困と教育も例外ではなく、大きく議論していこうと述べました。



開会あいさつをする安部高教組委員長

2018年度4月より小学校で道徳が教科化されました。また、来年の2019年4月からは中学校で道徳が教科化され授業がスタートします。と、理科は科学者、算数は数学者、倫理は哲学者、哲学は哲学者や倫理学者がほとんど関わっています。



講師 徳島大学准教授 山口 裕之さん

民主主義と道徳教育

共有点を見だし、異論と向き合おう

2018年度4月より小学校で道徳が教科化されました。また、来年の2019年4月からは中学校で道徳が教科化され授業がスタートします。と、理科は科学者、算数は数学者、倫理は哲学者、哲学は哲学者や倫理学者がほとんど関わっています。

「民主主義と道徳教育」の共有点を見出し、異論と向き合おう。山口 裕之さん

「民主主義と道徳教育」の共有点を見出し、異論と向き合おう。山口 裕之さん

「行政キャラバン」という言葉をご存じだろうか。香教組と連携する民主団体が一緒に、各市町へおじゃまして、

「行政キャラバン」という言葉をご存じだろうか。香教組と連携する民主団体が一緒に、各市町へおじゃまして、

「行政キャラバン」という言葉をご存じだろうか。香教組と連携する民主団体が一緒に、各市町へおじゃまして、



「行政キャラバン」という言葉をご存じだろうか。香教組と連携する民主団体が一緒に、各市町へおじゃまして、

教育をめぐる5つの分科会

香教組から3本のレポートができました

道徳導入現場と教科書問題

「道徳」とは、いろいろなとらえ方があり、人それぞれで「道徳の価値観」というものはかなり異なるのではないかと思います。そこへいじめに関する痛ましい事案が起こり、道徳の特別の教科化が進みました。

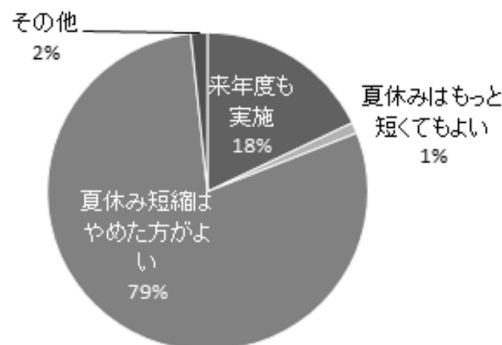
では、現場では教科化になり、どんな議論になっているかというと、道徳の授業の充実を図るため、①教材の活用②地域との連携（「道徳の日」を年10回程度作り、家庭にその実践を伝えるなど）③年間35時間の授業をきっちり計画を立てて実施しようとしている。さらにその中で香川県独自に作成された「ともいきる」という副読本を利用し、①考える道徳にすべき②押しつけの道徳から脱却すべき③多面的な見方、多角的な見方ができる人材をつくる等が話されています。

実際の道徳教材「星野君の二塁打」（小6）では、監督のバントのサインに反して二塁打を打ってしまった星野君。しかし彼の働きでチームは選手権大会への出場を決めます。ところが、監督との約束を破った星野君は監督に大会への出場禁止を告げられます。この教材で、教師が研究すべきなのは、多面的な見方を取り入れた授業の創造です。指導書通りの授業を行うと、春に騒がれた日大アメフト部のような人をつくりかねません。

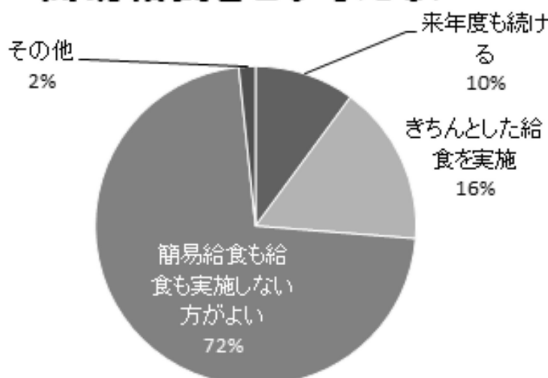
多くの可能性を信じ、多彩で多様な道徳の実践をしていく必要があると思います。

高松市夏休み短縮問題について考える

夏休み短縮をどのように考えるか



簡易給食をどう考えるか



「特別の教科 道徳」をどう考える？ - 香川民研からのレポート -

【香川県国民研究所(略称：香川民研)】は、
香教組・高教組が運営する民主的教育研究団体です。

2011年の大津でのいじめ自殺事件を理由に、「道徳の教科化」が「教育再生実行会議」の第一次提言で打ち出され、中学校では2018年8月末までに教科書採択が行われ、2019年より検定教科書で実施されます。

「特別の教科「道徳」が出てきた背景やその経過、またその問題点、道徳は教科になりえるのか、文科省がねらう授業ではなく、私たちが考える道徳の授業を実践していかなくてはなりません。

全教などの調べによると、8社の教科書に共通して特徴的な教材が多く、15項目にわたる問題があります。例えば、「がんばれ、がんばれ」と叱咤激励するものであったり、「礼儀の教え込み、型の押しつけ」、「ジェンダーの視点から見て問題」などです。どの教科書が採択されても、問題があり、実践上の課題があります。どういった授業を行うか、どう評価を行うかは大きな課題です。

文科省がねらう授業ではなく、私たちが考える道徳の授業とはどういふものなのか、職場で保護者とともに議論しながら実践していく必要があります。

日本国憲法や子どもの権利条約などを基調にした価値、平和・民主主義・基本的人権などを現場で豊かな資料をもって考えていくことが今求められています。

2015年度より始まった、高松市内の小中学校5日間の夏休み短縮。一、学力の定着 二、子どもと向き合う時間の確保 三、ゆとりある教育課程の展開と3つのねらいを高松市は上げているが、夏休み短縮が本当に児童生徒にとって必要なかどうか、教職員アンケートをとり検証した。

昨年までは、簡易給食が行われていなかったため、3つのねらいを中心にアンケートを行ったところ、一、学力の定着については「効果はなかった」「あまり効果はなかった」合わせて53%、二、子どもと向き合う時間の確保は「できなかった」「あまりできなかった」合わせて42%、三、ゆとりある教育課程の展開は「できなかった」合わせて38%だった。

更に今年より簡易給食が始まり、夏休み短縮の是非、簡易給食についてアンケートを取ると結果は上記の通り。「夏休み短縮はやめた方がよい」「簡易給食も給食も実施しない方がよい」が70%を超えた。自由記述にも様々な意見が上がり、「9/1始業でよい。」「8月は休まない身がもたない。」「多忙の毎日でした。簡易給食の内容を考えて欲しい。」「簡易給食は中途半端でいい。」などの意見が多数だった。

県教研に参加して (感想)

【第1分科会に参加して】
現役香川大学生が参加しての、高校時代の生徒から見た「生徒の創る授業」の発表が、興味深かった。本人達の発表なのでとても感銘を受けた。

【講演会について】
よく使われている「人それぞれ」という言葉が人の意見を聞く機会を奪っているというのには本當にそうだと思う。

オープニングのよきこいは、子どもたちの笑顔と元気いっぱい踊りでよかったです。

【第5分科会に参加して】
特別支援学級の子どもたちを型にはめないことが大切になってくるのが分かりました。教育現場では、「〇〇スタンダード」のようにとにかく型にはめることで教師の安心感をおしつけてくるのが多くなってきたことにびっくりしました。